

HIOKI

LAN ケーブルハイテスタ 3665

LAN CABLE HITESTER 3665

ネットワークの敷設工事は

この1台で



【実物大】

シールド
対応

CAT6
対応

ワイヤマップ

スプリットペアも確実に検出 結線状況チェック

ケーブル長

測定確度向上 断線/短絡位置がわかる

ディレクシヨシ

最大21本のケーブルの接続先を識別

CE

3 year
3年保証

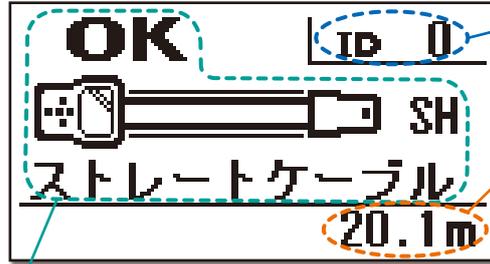
簡単操作

ケーブルを接続し
TEST キーを押す



一括表示

ワイヤマップ・ディレクション・ケーブル長を同時にチェック、測定結果が一目で分かる一括表示



2 ディレクション

接続されているターミネータの ID 番号を表示。

3 ケーブル長

ケーブルの全長、または断線/短絡等、問題のある箇所までの距離を表示。

1 ワイヤマップ

配線状況を OK/NG で表示。

ケーブルの種類、NG の内容、シールドのある/なしも表示。

1 ワイヤマップ

敷設後の配線確認や断線位置の確認に。測定結果【OK/NG】が一目でわかります。

OK 画面表示例

ストレートケーブル、クロスケーブル（10/100BASE, 1000BASE-T, 1000BASE-TX）のチェックができます。

【ストレートケーブル】



【クロスケーブル】



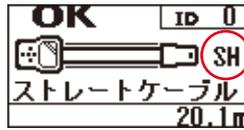
CAT6 ケーブルに対応

CAT6 までのケーブルを検査できます。

検出機能 UP!!

シールド有無検出が可能

シールド付きの LAN ケーブルも検査できます。



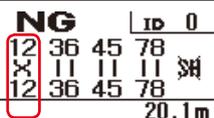
シールドあり



シールドなし

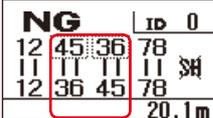
NG 画面表示例

【リバース】



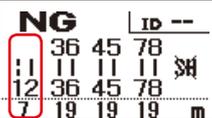
1 番ピンと 2 番ピンが逆に接続されています。

【トランスポーズ】



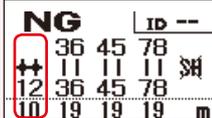
3・6 番ピンと 4・5 番ピンのペアが入れ違っています。

【オープン】



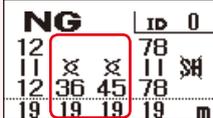
1 番ピンが本体から 7m 先でオープンになっています

【ショート】



1・2 番ピンが本体から 10m 先でショートしています。

【スプリットペア】

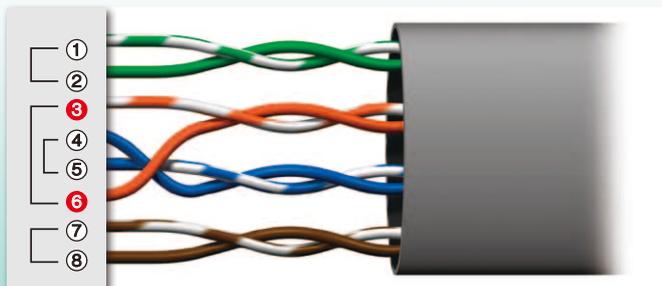


3・6 番 / 4・5 番となるはずのツイストペアが誤っています。

要注意

スプリットペア

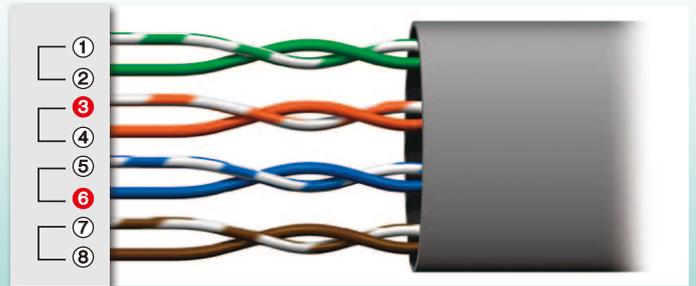
を見落としていませんか？



OK

【正常な結線】

コネクタを上図のように結線すると正しく配線できます。3 番ピンと 6 番ピンがツイストしています。



NG

【スプリットペア】

コネクタを上図のように結線すると誤結線【スプリットペア】になります。3 番ピンと 6 番ピンがツイストしていません。

2 ディレクション

複数ケーブルの接続先確認に。最大 21 本のケーブルを識別できます。

ケーブルの敷設本数が増えて、
お困りではありませんか？

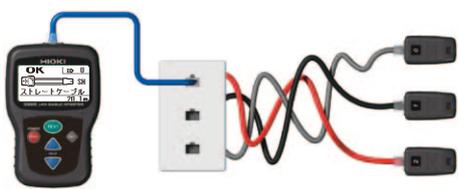


複数ケーブルの接続先を確認しながら、
配線チェックができるテストが便利です！



作業効率
UP!!

ターミネータの付け替えに
行ったり来たりする必要がありません！



最大 21 個（オプション含む）のターミネータをご用意して
います。複数ケーブルの接続先確認に便利です。

3 ケーブル長

ケーブルの長さを測定。断線 / 短絡位置の確認もできます。

NVP 設定機能*（ケーブル長補正機能）で、**測定精度が向上します。**

（NVP 設定時、NVP 値の不確かさによる誤差は除く）

■ 3665 : $\pm 4\%$ rdg. $\pm 1\text{m}$
（弊社従来器 : $\pm 15\%$ rdg. $\pm 1\text{m}$ ）

測定精度
UP!!



* NVP 値とは、光速に対する信号の伝搬速度の割合です。NVP 値はケーブルの種類やペアのツイスト状態
によって異なるため、測定するケーブルの種類ごとに設定することで測定精度をあげることができます。

■ NVP は簡単に設定できます



事前に準備

測定するケーブルと同種類の
ケーブルを用意し、実長を測
定しておく。（100m 以上推奨）

測定に戻る
長さの補正
プザーの設定
決定 NVP 0.684

1 設定画面で「長さの補正」
を選択。

長さ補正 $\triangleright 101.3\text{m}$
NVP 0.684
決定 長さ取得

2 TEST キーを押して基準
ケーブルの長さを測定。

長さ補正 $\triangleright 100.0\text{m}$
NVP 0.675
決定 長さ取得

3 測定した基準ケーブルの
長さに補正。

長さ補正 $\triangleright \text{OK}$
キャンセル
決定

設定
完了



≡ スプリットペアだとどんな問題が起こる？ ≡

- ◆ 通信速度が出ない！（100BASE のつもりが 10BASE の速度しか出ない）
- ◆ 通信エラーが増える！（通信ができない、時々途切れる）
- ◆ ノイズに弱いケーブルになってしまう！ …などの現象が起こってしまいます。

スプリットペアはツイストしているペア
が間違っていることによる誤配線です。
導通チェックのみでは検出できません。



OK!

HIOKI の LAN ケーブルハイテスタ 3665 は
スプリットペアも確実に検出します！



仕様 (確度保証期間 1 年, 調整後確度保証期間 1 年)

23℃ ±5℃、80% rh 以下で結露しないこと、バッテリーマーク非点灯時において

測定可能ケーブル	ツイストペアケーブル 特性インピーダンス 100Ω, シールド付き / シールドなし, CAT 3, 4, 5, 5e, 6
測定可能コネクタ	RJ-45 コネクタ
測定項目	
《ワイヤマップ》	ターミネータ 9690 を使用して結線状況およびシールドの確認が可能 [検出エラー] オープン、ショート、リバーズ、トランスポーズ、スプリット、その他の誤配線
《ケーブル長》	[測定長] 2 ~ 300m [測定確度] ±4 % rdg, ±1 m [表示分解能] 0.1 m
《ディレクション》	ターミネータ 9690 (付属品) および 9690-01 ~ 9690-04 (オプション) を使用して 21 本のケーブルを識別可能
表示部	128×64 ドットマトリクス LCD (バックライト付)
付属機能	[オートバックライト] キー操作時バックライト点灯 (約 20 秒後に自動消灯) [ブザー] キー操作時、測定結果表示時にブザー音 [省電力モード] 測定動作後に省電力モード (TEST キーで測定動作時に復帰) [オートパワーセーブ] 最後のキー操作後、約 10 分後に自動的に電源遮断 [バッテリーチェック] 電源電圧 約 2.4V 以下にてバッテリーマーク点滅 [言語切換] 日本語 / 英語 切換
適合規格	[安全規格] EN61010-1 汚染度 2 [EMC 規格] EN61326
許容入力	3.3 V ピーク (RJ-45 ピン間)
使用温湿度範囲	0℃ ~ 40℃、80% rh 以下 (結露しないこと)
保存温度範囲	- 10℃ ~ 50℃、80% rh 以下 (結露しないこと)
電源	単 3 形アルカリ電池 (LR6) × 2
最大定格電力	1.4 VA
使用時間	約 50 時間 (1 分間に 1 測定時)
寸法・質量	約 85 W×130 H×33 Dmm・約 160g

製品名: LAN ケーブルハイテスタ 3665

形名(発注コード) (価格)
3665 ¥ 49,800 (税抜き)
各ケーブルの識別ができるディレクションチェックには、オプションのターミネータ 9690-01 ~ -04 をお買い求めください。

■ 付属品

ターミネータ 9690
携帯用ケース (3665 と 9690 を収納)



ターミネータ 9690 携帯用ケース



オプション	ターミネータ 9690-01 ID 1~5, 5個セット¥18,000	ターミネータ 9690-02 ID 6~10, 5個セット¥18,000	ターミネータ 9690-03 ID 11~15, 5個セット¥18,000	携帯用ケース 9249 オプション一括収納可、 樹脂ケース¥10,000
	ターミネータ 9690-04 ID 16~20, 5個セット¥18,000			

日置電機株式会社

本社 〒386-1192 長野県上田市小泉81

製品に関するお問い合わせはこちら

本社 カスタマーサポート

☎ 0120-72-0560

(9:00~12:00, 13:00~17:00, 土・日・祝日を除く)

☎ 0268-28-0560 ✉ info@hioki.co.jp

詳しい情報はWEBで検索

お問い合わせは ...